

令和4年4月11日

共同プレスリリース

各報道機関 御中

南九州大学学長 前田隆昭
宮崎産業経営大学学長 大村昌弘
宮崎大学学長 鮫島浩

文部科学省の大学改革推進等補助金(デジタル活用高度専門人材育成事業)
デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業
で全国39件の採択で、宮崎県で2件(3大学)が採択を受ける。

文部科学省は、昨年12月24日に大学改革推進等補助金の「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度人材育成事業」の公募を行った。県内からは南九州大学（前田隆昭学長）と宮崎産業経営大学（大村昌弘学長）が連携で「産業界、地域社会と連携するデータ駆動型6次化スマートファクトリーDX人材育成」と宮崎大学（鮫島浩学長）の「農工連携による農林畜産業を中心とした地域産業DXを牽引するデジタル活用高度専門人材育成」の2件が申請し、令和4年3月11日に採択が決定し、この度、文部科学省との補助金交付の両採択合わせて約2億6千万円の契約を終えました。

本補助事業は、高等教育機関においてデジタルと専門分野の教育を掛け合わせた実験・実習カリキュラムを実施するにあたり、基盤となる教育設備等の支援を行うことで、デジタル化が進む産業分野をけん引する高度専門人材を育成することを目的とするものです。Society5.0時代のデジタル社会への環境変化に対応した資質・能力を備えた人材を育成するため、DX教育設備を活用した教育カリキュラム開発や実験・実習の高度化など、デジタル×専門分野の教育を進め、日本の産業のデジタル化・高付加価値化をけん引する高度専門人材育成を加速する事が求められています。

公募には、全国の国公立大学・私立大学・短期大学・高専から99件の申請があり、有識者の審査の結果39件が採択となりました。申請した国立大学39件中18件、私立大学33件中11件の採択でした。

南九州大学と宮崎産業経営大学の「産業界、地域社会と連携するデータ駆動型6次化スマートファクトリーDX人材育成」(補助金交付決定額：131,875千円)では、南九州大学健康栄養学部（吉本博明学部長）と宮崎産業経営大学経営学部（日高光宣教授）が中心となり食品の分析・加工と流通マーケティングにおけるデジタル演習設備を配置して、各機器からデータを収集して分析します。食品産業のHACCPマネジメントでは、危害分析に基づき設定されたCCP（Critical Control Point：重要管理点）について、中規模以上の食品工場であればデジタル機器を使用してモニタリングしているが、これに対応して、導入する微生物迅速検出システムやFT-IR水分活性計でCCPモニタリングのデジタルデータ取得と可視化を可能にします。流通では人流データセンサーを実際に市中に設置して人の流れによるマーケティングデータの解析を行います。更に3Dプリンターなどを用いたパッケージデザインやWeb広告のデザイン可能とした設備で6次化産業をけん引する人材を両大学のカリキュラムに取り入れ育成します。

宮崎大学の「農工連携による農林畜産業を中心とした地域産業DXを牽引するデジタル活用高度専門人材育成」(補助金交付決定額:133,317千円)では、宮崎大学は農学部(國武久登学部長)と工学部(鈴木祥広学部長)の学内での農工連携として、2007年度に設置した農学工学総合研究科博士後期課程をはじめとする異分野融合型の研究体制や強固な産学官連携体制の土台があります。その強みを生かしながら、農林畜産分野の専門知識に加えて、デジタル技術を活用した次世代の農業をけん引することができる計画となっている点が高く評価されました。本学が採択された事業では、宮崎県の基幹産業である農林畜産業を中心とした地域産業の課題解決をDXにより実践し、かつ地域のDX化を牽引できる高度専門人材を、農学部と工学部の協働・共創により輩出することを目的としています。本事業によりDX人材を地域に供給することによって、地域産業の労働生産性向上、商品の高付加価値化、担い手確保、安全性向上、生産物認証の促進といった課題を一気に解決し、地域経済の活性化をもたらすことが期待されます。

各大学では、早々に各設備の準備と実習・演習カリキュラムの構築を開始し、本年の後期の授業から順次産業DXをけん引する人材育成を行っていきます。本県の各産業界・団体からも本事業への期待は高く、今後の人材育成に大きく貢献するものと期待されています。

記者発表案内

日時：令和4年4月15日(金) 午前10時～

場所：南九州大学 宮崎キャンパス 学生会館「ひなた館」1F アクティブラーニングルーム
〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島5丁目1-2 TEL:0985-83-2111 FAX:0985-83-3383

議事：

※司会進行 宮崎大学理事（副学長） 片岡寛章

10：00 概要説明

宮崎大学理事 片岡寛章

10：10 挨拶 各大学の取り組み

南九州大学 学長 前田隆昭

宮崎産業経営大学 学長 大村昌弘

宮崎大学 学長 鮫島浩

10：20 質疑応答

【事業説明者】

南九州大学 健康栄養学部長 吉本博明

宮崎産業経営大学 経営学部教授 日高光宣

宮崎大学 農学部長 國武久登

10：40 終了

※ 今後の予定

南九州大学、宮崎産業経営大学の連携事業では、DXシステムの導入後に各企業団体・県内高校への公開を予定しており。日程が確定次第（令和4年9月から10月）順次ご案内致します。